

れいわ ねんど
令和 5 年度

きゅうぞうえんせこうかんりぎじゅつけんてい
1 級 造園施工管理技術 検定

だいいちじけんてい しけんもんだい
第一次 検定 ・ 試験 問題 A

つぎ ちゅうい よ から かいとう
次の注意をよく読んでから解答してください。

ちゅうい
【注 意】

- これは第一次検定の試験問題Aです。表紙とも10枚、36問題あります。
- 解答用紙（マークシート）には、試験地、氏名、フリガナ、受験番号を間違いのないように記入するとともに受験番号の数字をぬりつぶしてください。
- 問題は全て必須ですから、36問題全部を解答してください。
- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。
- 解答は別の解答用紙（マークシート）にHBの鉛筆又はシャープペンシルで記入してください。
(万年筆、ボールペンの使用は不可)

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

かいとうようし
解答用紙は

となっていますから、

とうがいもんだいばんごう かいとう きにゅうらん せいがい おも すうじ ひと
当該問題番号の解答記入欄の正解とと思う数字を一つぬりつぶしてください。

かいとう かつ かいとうようし かいとう きにゅうれい かつ さんしょう
解答のぬりつぶし方は、解答用紙の解答記入例（ぬりつぶし方）を参照してください。

なお、正解は1問について一つしかないのです、二つ以上ぬりつぶすと得点になりません。

- 解答を訂正する場合は、プラスチック消しゴムできれいに消してから訂正してください。
消し方が不十分な場合には、二つ以上解答したこととなり正しく解答したこととなりません。
- この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。
ただし、解答用紙は計算等に使用しないでください。
- 解答用紙（マークシート）を必ず試験監督者に提出後、退室してください。
解答用紙（マークシート）は、いかなる場合でも持ち帰りはできません。
- 試験問題は、試験終了時刻（12時30分）まで在席した方のうち、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室した場合には、持ち帰りはできません。

※ 問題は全て必須ですから、36 問題全部を解答してください。

〔問題 1〕 日本庭園に関する「庭園名」、「庭園様式」、「庭園が作庭された時代」の組合せとして、
適切なものはどれか。

- | | 庭園名 | 庭園様式 | 庭園が作庭された時代 |
|-----|----------|---------|------------|
| (1) | 無鄰庵庭園 | 茶庭 | 平安時代 |
| (2) | 金地院庭園 | 浄土式庭園 | 鎌倉時代 |
| (3) | 大徳寺大仙院庭園 | 枯山水式庭園 | 室町時代 |
| (4) | 平等院庭園 | 池泉回遊式庭園 | 江戸時代 |

〔問題 2〕 我が国の公園制度に関する次の記述の (A)、(B) に当てはまる語句の組合せとして、
適切なものはどれか。

我が国の近代的な公園制度は、1873 (明治 6) 年に公布された公園開設に関する (A) により始まったとされており、これに基づき、当時庶民の物見遊山の場であった現在の (B) など、25 カ所が公園として指定された。

- | | (A) | (B) |
|-----|-------------|--------|
| (1) | 太政官布達第 16 号 | 代々木公園 |
| (2) | 太政官布達第 16 号 | 上野恩賜公園 |
| (3) | 東京市区改正条例 | 代々木公園 |
| (4) | 東京市区改正条例 | 上野恩賜公園 |

〔問題 3〕 土壌に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- 土壌水のうち、植物が吸収可能な有効水は、土壌中の孔隙を上下している毛管水である。
- 土壌中の窒素は、大部分が有機態窒素で存在し、土壌微生物により分解され無機態窒素に変化することにより、植物に吸収されるようになる。
- 土壌の基本的な性質は、土性と密接な関係があり、一般に埴土は壤土と比べて植物の生育に適している。
- 市街地では、コンクリートの構造物やアスファルト舗装が地表を覆い、土壌が乾燥する影響で、一般に、土壌がアルカリ化する傾向がある。

〔問題〕 4) 土壌に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 土壌中の空気の組成は、大気に比べ、窒素の比率・二酸化炭素の比率ともに小さくなる。
- (2) 腐植は、土壌中のアルミニウムイオンを活性化するので、腐植を多く含む土壌ではリン酸の固定力が強くなる。
- (3) 土壌の圃場容水量とは、土壌に十分な水が加えられた後、重力による水の排水が終了したときの水分保持量のことである。
- (4) 腐植は、土壌中の微生物の活動を阻害する働きを有し、これにより土壌有機物の分解が抑制される。

〔問題〕 5) 植物の虫害に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) コガネムシ類の幼虫は、地中に生息して植物の根を食害し、苗木・幼木を枯死させる。
- (2) ハムシ類の幼虫・成虫は、植物の芽や新葉などに群生して汁液を吸収し、植物の生育を妨げる。
- (3) グンバイムシ類の幼虫・成虫は、植物の葉に針状の口を刺して吸汁し、吸汁箇所は白い斑点状となる。
- (4) ミノガ類の幼虫は、葉や枝で作った巣に生息して、葉を食害する。

〔問題〕 6) 次の(イ)、(ロ)の記述に該当する肥料成分の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (イ) 植物体内の新陳代謝をよくし、欠乏時には気孔や水分代謝の調節を欠き、茎葉が軟弱体になる。過多になると、マグネシウムなどの吸収を妨げるので、生育が悪くなる。
- (ロ) エネルギー代謝や光合成に重要な働きをし、植物の根の発育を促し、発芽力を旺盛にする。欠乏すると、生育不良で葉色が濃くなり、花芽分化や開花・結実が悪くなる。

(イ) (ロ)

- (1) カリ —— 窒素
- (2) カリ —— リン酸
- (3) 窒素 —— カリ
- (4) 窒素 —— リン酸

〔問題 7〕 ^{か だん} 花壇に用いられる ^{しよくぶつ} 植物に関する ^{くみあわ} 組合せとして、^{てきとう} 適当なものはどれか。

- (1) ^{はる ま} 春播き ^{いちねんそう} 一年草 —— ^{ぱんじー} パンジー、^{ひなげし} ヒナゲシ、^{にちにちそう} ニチニチソウ
- (2) ^{あき ま} 秋播き ^{いちねんそう} 一年草 —— ^{こりうす} コリウス、^{ふくじゅそう} フクジュソウ、^{むらさきはな} ムラサキハナナ
- (3) ^{しゅつこんそう} 宿根草 —— ^{じゃーまんアイリス} ジャーマンアイリス、^{しろたえぎく} シロタエギク、^{けいとウ} ケイトウ
- (4) ^{きゅうこんくさばな} 球根草花 —— ^{あねもね} アネモネ、^{ちゅーりっぷ} チューリップ、^{ひあしんす} ヒアシンス

〔問題 8〕 ^{ぞうえんじゆもく} 造園樹木の ^{せいしつ} 性質に関する ^{きじゆつ} 記述のうち、^{てきとう} 適当でないものはどれか。

- (1) ^{どウダンツツジ} ドウダンツツジ、^{かなめもち} カナメモチ、^{いヌツゲ} イヌツゲは、^{ほうがりよく} 萌芽力が強い。
- (2) ^{スズカケノキ} スズカケノキ、^{マンリョウ} マンリョウ、^{ユリノキ} ユリノキは、^{たいいんせい} 耐陰性に ^{すぐ} 優れている。
- (3) ^{トベラ} トベラ、^{イチョウ} イチョウ、^{キョウチクトウ} キョウチクトウは、^{たいきおせん} 大気汚染に対する ^{たいせい} 耐性に ^{すぐ} 優れている。
- (4) ^{ウバメガシ} ウバメガシ、^{シャリンバイ} シャリンバイ、^{マテバシイ} マテバシイは、^{たいちようせい} 耐潮性に ^{すぐ} 優れている。

〔問題 9〕 ^{けっしょうへんがん} 結晶片岩に関する ^{かん} 次の ^{つぎ} 記述の (A)～(C) に ^あ 当てはまる ^{ごく} 語句の ^{くみあわ} 組合せとして、^{てきとう} 適当なものはどれか。

^{けっしょうへんがん} 結晶片岩は、^{せいいん} 成因による ^{ぶんるいじょう} 分類上は (A) であり、(B) という ^{とくちよう} 特徴を持つ。主な ^{おも} 石材 ^{せきざい} として (C) がある。

- | | (A) | (B) | (C) |
|-----|---|-----|-------------------------|
| (1) | ^{へんせいがん} 変成岩 —— ^{なんしつ} 軟質ではがれやすい | —— | ^{ちちぶあおいし} 秩父青石 |
| (2) | ^{へんせいがん} 変成岩 —— ^{ちゅうじょうせつり} 柱状節理が発達している | —— | ^{くろいし} 黒ぼく石 |
| (3) | ^{かせいがん} 火成岩 —— ^{なんしつ} 軟質ではがれやすい | —— | ^{くろいし} 黒ぼく石 |
| (4) | ^{かせいがん} 火成岩 —— ^{ちゅうじょうせつり} 柱状節理が発達している | —— | ^{ちちぶあおいし} 秩父青石 |

〔問題 10〕 木材の一般的な性質に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 木材は、温度変化による膨張や収縮は大きい**が**、含水率の増減による膨張や収縮は温度変化の2分の1以下と小さい。
- (2) 木材は、繊維に平行な方向の圧縮力に対して弱く、繊維に直角な方向の圧縮力に対して強い。
- (3) 木材のせん断強さは一般に小さく、繊維に平行な方向の引張強さの10分の1程度である。
- (4) 普通合板は、単材に比べて収縮率は大きく、幅と長さの方向の収縮率の差も大きい。

〔問題 11〕 日本庭園における役木に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 寂然木は、橋の手前に植栽し、枝葉が橋上に差しかかり、水面に影を落とすように植栽する樹木で、カエデ、シダレヤナギなどが用いられる。
- (2) 景養木は、庭の景致の中心となり、正真木と対比美を示す樹木で、正真木が針葉樹であれば広葉樹が用いられる。
- (3) 流枝は、池泉の水面に枝を伸ばし、水面と地表が連絡しているように植栽する樹木で、アカマツ、ハイビャクシン、キャラボクなどが用いられる。
- (4) 池際の木は、池の水面に影を映し、夏の涼しさと秋の月夜の景趣を添えるために池に枝を差し出した樹木で、樹種は問わず、樹形の良いものが用いられる。

〔問題 12〕 当年枝に花芽分化し、年内に開花する花木の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (1) ハナミズキ、エゴノキ
- (2) コデマリ、サルスベリ
- (3) キンモクセイ、シモツケ
- (4) シャリンバイ、ムクゲ

〔問題 13〕 造園樹木の支柱に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 公園の入口広場の植栽に植栽する樹高7.0m、幹周0.5mのイチヨウに十字鳥居型支柱を用いた。
- (2) 公園の外周に沿って列植する樹高4.5m、幹周0.25mのシラカシに丸太布掛支柱を用いた。
- (3) 公園の芝生広場に植栽する樹高5.0m、幹周0.25mのケヤキに竹3本のハツ掛支柱を用いた。
- (4) 公園の園路脇に植栽する樹高2.5m、幹周0.12mのシダレザクラに添え柱支柱を用いた。

〔問題 14〕 造園樹木の剪定に関する記述のうち、**適当なものはどれか。**

- (1) 枝下ろしは、主として樹冠を小さくするために行い、枝の適正な分岐点において、長い方の枝を付け根から切り取る。
- (2) 切返し剪定は、主として混みすぎた枝の透かしのために行い、樹形や樹冠のバランスを考慮しつつ、枝を付け根から切り取る。
- (3) 落葉樹の冬期剪定は、樹形や枝の配置状況が分かるため作業が容易であるが、樹木の生長が止まっているため、一般的に樹形の骨格をつくるような剪定は避け、軽い剪定に留める。
- (4) 夏期剪定は、台風による風害の防止や渇水期における枝葉からの水分蒸散量の抑制に効果があるが、新生枝の生長が旺盛でない場合には、行わない方がよい。

- 〔問題 15〕 B.M. (標高 19.00 m) と測点間の水準測量を行った結果、下表に示す数値を得た。
 測点 No.2 の地盤高 (m) として、正しいものはどれか。
 ただし、誤差はないものとする。

測点	後視 B.S. (m)	前視 F.S. (m)
B.M.	1.67	
No.1	2.41	3.18
No.2	1.61	1.69

- (1) 18.15 m
- (2) 18.21 m
- (3) 19.79 m
- (4) 19.85 m

- 〔問題 16〕 アスファルト舗装に関する記述のうち、適当でないものはどれか。

- (1) 敷均し時のアスファルト混合物の温度は、アスファルトの粘度にもよるが、一般に 110℃ を下回らないようにする。
- (2) 寒冷期の施工や急速施工の場合のタックコートは、養生時間を短縮するため、アスファルトに乳剤を加温して散布することがある。
- (3) 透水性舗装の場合、プライムコートは表面水の浸透を阻害することになるので、原則として施工しない。
- (4) プライムコートは、新たに舗装する混合物層とその下の基層との付着、及び継目部との付着を良くするために施工する。

〔問題 17〕 運動施設に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 硬式テニスコートの長軸を南北方向にとり、コート^の排水勾配を一方のサイドラインから他方のサイドライン方向に向かって0.5%とした。
- (2) 硬式テニスコートのベースラインは幅10cm、それ以外のラインはすべて幅5cmとし、コート^の寸法はラインの外側から計測した。
- (3) 野球場^の方位を、競技者を主体とするために本塁を南にとり、外野^の排水勾配を塁線から外周に向かって0.1%とした。
- (4) 硬式野球場^のバックストップ（バックネット）を、本塁から20mの距離をとった位置とした。

〔問題 18〕 サッカー場に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) サッカー場を整備する土地の恒風が東西方向であるため、フィールドの長軸を恒風の方向と一致させた。
- (2) フィールドを天然芝で整備するに当たって、ピッチの外側5mの範囲まで芝の植付けを行った。
- (3) フィールドを天然芝で整備するに当たって、表層（床土）の下に設ける中層に火山砂利を用いた。
- (4) 陸上競技とサッカーとの兼用競技場の照明工事に当たって、照明灯を長軸側の両サイド4か所ずつ、計8か所に配置した。

〔問題 19〕 遊具の設置に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 遊具の踊り場や通路といった歩行を目的とした平坦な床面を設置する際、足が挟み込まれないように、床面の隙間を40mmとした。
- (2) 遊具の落下防止柵を設置する際、頭部及び胴体が挟み込まれないように、落下防止柵の隙間を90mmとした。
- (3) 遊具を設置する際、子供の頭部又は首が挟まって抜けなくならないように、上向き^のV字型開口部の角度を60度とした。
- (4) ネットクライマーを設置する際、ネットの網目で構成された開口部について、子供の頭部及び胴体の挟み込みが発生しないように、φ230mmの検査器具が通り抜けられる大きさとした。

〔問題 20〕 日本庭園における滝及び流れの役石に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 水落石は、滝水の落ち口に据える役石であり、この石の形や据え方によって、水の落ち方が変わってくる。
- (2) 底石は、滝の役石であり、滝つぼに置き、落水による音やしぶきを表現する。
- (3) 水切り石は、流れの役石であり、流れの中にあつて水を分流して勢いをつける。
- (4) 水越石は、流れの役石であり、水面下で水を盛り上げて瀬落としをつくるように設ける。

〔問題 21〕 盛土に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 砂質土を用いて高さ4mの盛土を施工する場合、法面の勾配は1:1.5～1:1.8とするのが標準的である。
- (2) 段切りとは、基礎地盤の勾配が1:4より急な場所で盛土を施工する場合、基礎地盤と盛土の密着を確実にするため、盛土の施工に先立ち階段状の切土を行うものである。
- (3) サンドマット工法とは、軟弱地盤上で盛土を施工する場合、地盤の上部排水層や施工機械のトラフィカビリティの確保のため、厚さ0.5～1.2m程度の砂を敷設するものである。
- (4) 園路における路床の盛土材料の敷均しを行う場合、1層あたりの敷均し厚さは50～60cmとするのが標準的である。

〔問題 22〕 コンクリートの施工に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 柱と梁が連続する構造物の施工に当たり、沈みひび割れを防止するため、柱のコンクリートの沈下がほぼ終了してから、梁のコンクリートを打ち込んだ。
- (2) 滑らかで密実な表面とする必要があつたため、締固め後、速やかに金ごてを用いてコンクリート上面を軽く押し上げて仕上げた。
- (3) 寒中コンクリートの施工に当たり、打込み時のコンクリート温度を15℃とし、養生時には初期凍害を防止できる強度が得られるまで温度を10℃に保ち、さらに2日間は5℃に保った。
- (4) 仕上げ作業後、コンクリートが固まり始めるまでの間に発生したひび割れは、こてを用いたタンピングによって修復した。

〔問題 23〕 ようへき かん きじゆつ てきとう
擁壁に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) コンクリート積みブロックの積み方は、原則として、胴込めコンクリートを設ける練積で、水平方向に目地が通る布積とする。
- (2) もたれ式擁壁は、地山または切土部にもたれた状態で自重のみで土圧に抵抗する形式の擁壁であり、基礎地盤が良好で、背面の地山や切土部が比較的安定している場合に用いられる。
- (3) 片持ばり式擁壁は、たて壁と底板からなり、躯体自重とかかと版上の土の重量によって土圧に抵抗して安定を図る形式の擁壁であり、杭基礎が必要な場合にも用いられる。
- (4) 滑動に対する安全率の値が満足できない場合は、原則として、擁壁底面幅を変化させて安定を図る。

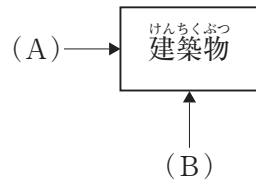
〔問題 24〕 はいすいこう かん きじゆつ てきとう
排水工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 内径 300 mm の管きよの直線部において、マンホールを 60 m 間隔で設けた。
- (2) 取付け管を本管へ取り付ける際、本管の中心線から上方に取り付けた。
- (3) 地表勾配が急な場所に排水管を設置する際、管きよ接合は計画水位を一致させて接合する管頂接合とした。
- (4) マンホールに管底差が 90 cm の上流管きよと下流管きよを接合する際、流量にに応じた副管付きマンホールを用いた。

〔問題 25〕 ちゃしつおよ ろじ かん きじゆつ てきとう
茶室及び露地に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) こけら葺きとは、杉や檜などを薄く削った木片で葺いた屋根をいう。
- (2) 落ち天井とは、茶室の天井が 2 段となっている場合の低い方の天井をいう。
- (3) 中柱とは、茶室が台目切の場合に、点前座と客座との間の炉隅に立てる柱をいう。
- (4) 寄付きとは、内露地に設けられる待合で、客が席入りの準備をするための建物をいう。

〔問題 26〕 けんちくぶつ か ず しめ ほうこう み ばあい やね けいじょう もしきず
 建築物を下図に示す (A), (B) の 2 方向から見た場合の「屋根の形状 (模式図)」
 と、その「形式」を表す語句の組合せとして、**適当なもの**はどれか。



やね けいじょう もしきず
 [屋根の形状 (模式図)]

けいしき
 [形式]

- | | (A) | (B) | |
|-----|-----|-----|---------------------|
| (1) | | | —— よせむね やね
寄棟屋根 |
| (2) | | | —— ほうぎょう やね
方形屋根 |
| (3) | | | —— ろくやね
陸屋根 |
| (4) | | | —— こしやね
越屋根 |

〔問題 27〕 こうえんない でんきせつ びこうじ かん きじゆつ てきとう
 公園内の電気設備工事に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- 低圧架空引込線を公園の敷地内へ引き込む際、車両が通行する園路を横断する箇所では、路面から引込線までの高さを 5.0 m 確保した。
- 地中配線に用いる硬質ビニル管を、掘削した底部に良質土を 5 cm 程度敷均した後に敷設し、同質の埋戻し土で 1 層の仕上り厚が 0.3 m となるよう均一に締め固めた。
- 照明灯の接地極を、建築物の避雷器の接地極及びその裸導線の地中部分から 1.5 m 離して埋設した。
- 地中電線路を敷設する際の埋設深さは、車両が通る場所においては 1.2 m、車両が通らない場所においては 0.6 m とした。

〔問題 28〕 給水工事に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 配水管から分水栓によって給水管を取り出す際、配水管の強度が低下しないよう、他の給水管の取付け口の位置から40cm離して設置した。
- (2) 鳥居配管の凸部において、通水障害となる空気だまりを生じさせないように、逆止弁を設置した。
- (3) 車両が通行する園路の下に口径100mmの給水管を布設する際、管を識別できるように明示テープを取り付けた。
- (4) 漏えい電流により侵食されるおそれのある場所において、絶縁材で被覆した給水管を布設した。

〔問題 29〕 「公共工事標準請負契約約款」に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 受注者は、特許権の対象となっている工事材料を使用するときは、その使用に関する一切の責任を負わなければならない。ただし、発注者がその工事材料を指定した場合において、設計図書に特許権の対象である旨の明示がなく、かつ、受注者がその存在を知らなかったときは、発注者は受注者がその使用に要した費用を負担しなければならない。
- (2) 受注者は、工事の施工に伴い通常避けることができない騒音、振動、地盤沈下、地下水の断絶等の理由により第三者に損害を及ぼした場合、原則として、その損害を負担しなければならない。
- (3) 発注者は、工事目的物の引渡し前でも、受注者の承諾を得て工事目的物の全部又は一部を使用することができる。
- (4) 受注者は、工事目的物及び工事材料について、設計図書に定めるところにより火災保険、建設工事保険その他の保険をかけなければならない。

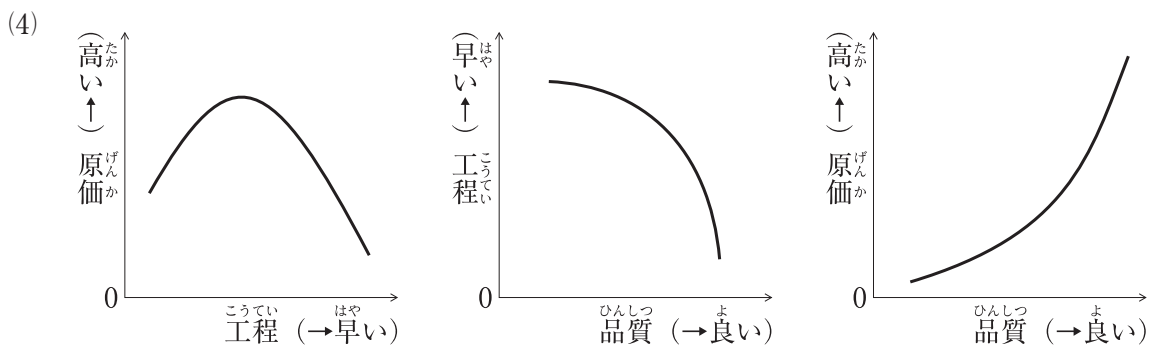
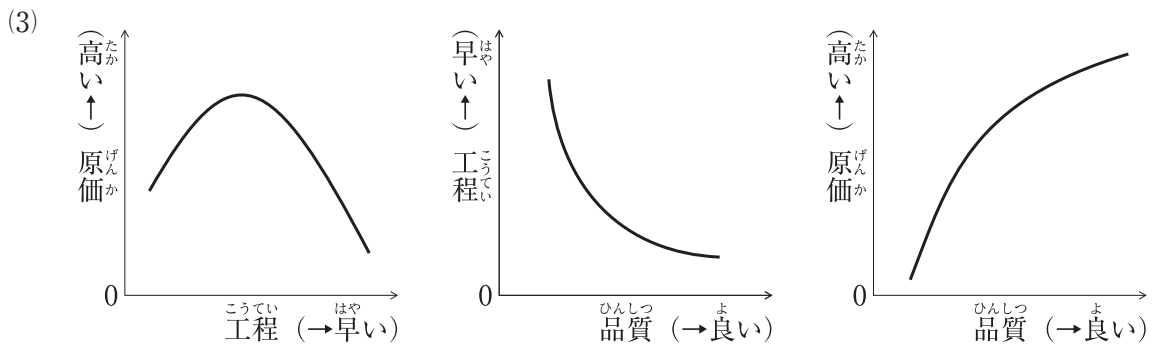
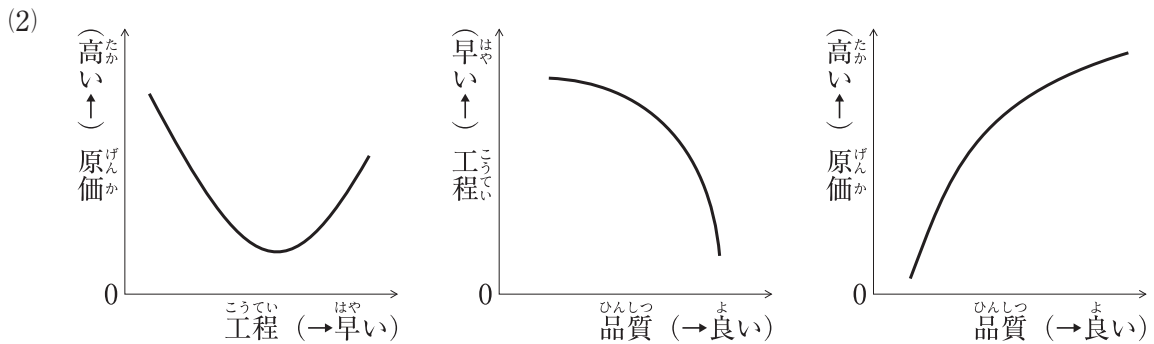
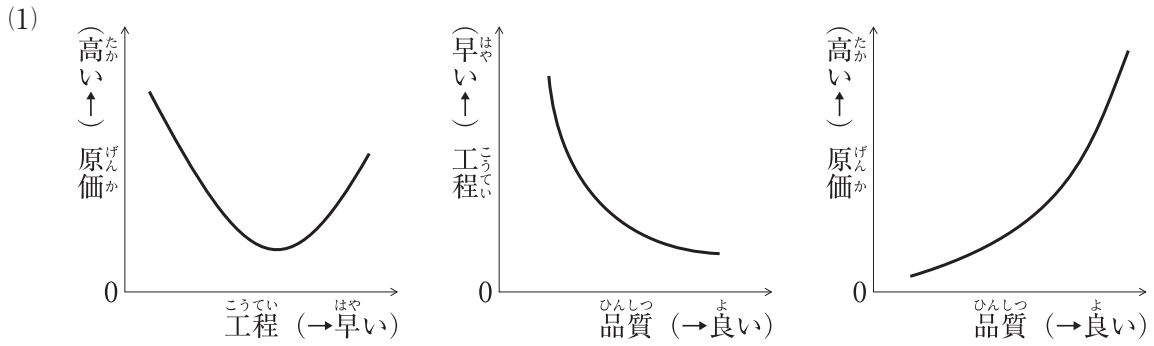
〔問題 30〕 公共工事における請負工事費のうち、**共通仮設費に含まれないものはどれか。**

- (1) 準備及び後片付けに要する費用
- (2) 現場事務所の土地・建物の借上げに要する費用
- (3) 参考図書や事務用消耗品の購入に要する費用
- (4) 現場内における器材の運搬に要する費用

〔問題 31〕 施工計画に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 労務計画の立案に当たっては、若年労働力や技能労働力の確保に留意しながら、工程図表から労務予定表を作成し、職種別に、いつ、何人必要であるかを検討する必要がある。
- (2) 資材計画の立案に当たっては、工事用資材の輸送について、標識・安全施設などの設置場所、交通誘導員の配置方法などの安全輸送上必要な事項について十分検討する必要がある。
- (3) 環境保全計画の立案に当たっては、建設工事の公共性を踏まえて、地域の生活環境や自然環境等の工事周辺環境及び施工現場内環境へ十分配慮する必要がある。
- (4) 仮設備計画の立案に当たっては、仮設備について、その使用目的や使用期間などに応じて、構造を設計し、労働安全衛生法などの基準に合致させる必要がある。

〔問題 32〕 工^{こうてい}程^{げんか}, 原^{ひんしつ}価^い, 品^{いっばんてき}質^{かんけい}の一般^{しめ}的な関係^ずを示^{くみあわ}した図^{てきとう}の組合^せとして, 適^{てきとう}当^ななものはど^れか。



【問題 33】 建設副産物に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 元請業者は、建設廃棄物の処理を委託する場合には、最終的な処分まで責任をもって管理するため、運搬と処分について一括して産業廃棄物処分業者と契約しなければならない。
- (2) 元請業者は、建設汚泥の運搬や処分を委託する場合には、受託した者に対して産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付しなくてよい。
- (3) 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づく対象建設工事の元請業者は、建設発生木材について、工事現場から最も近い再資源化施設までの距離が50 kmを超える場合など、経済性の制約が大きいときには、再資源化に代えて縮減（焼却）を行ってもよい。
- (4) 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」に基づく対象建設工事の元請業者は、着手7日前までに、工事着手の時期、工程の概要、分別解体等の計画などについて、都道府県知事に届出を行わなければならない。

【問題 34】 土工に用いる建設機械に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) ブルドーザは、締固めに使用する場合、締固め能率が悪く施工の確実性も低い、通常の締固め機械では使用困難な土質や法面の締固めに使用される場合がある。
- (2) 振動コンパクタは、一般にハンドガイド式が多く、小型軽量である特徴を活かし、狭い箇所、路床や構造物の裏込めなどの締固めに用いられる。
- (3) 振動ローラは、機械の自重とあわせ振動により深い層まで締め固める機械であり、礫混じり砂などの締固めに効果的であるが、含水比の高い砂質土には効果が少ない。
- (4) ロードローラは、舗装工及び路盤工に用いられるほか、土工では路床の仕上げ転圧などに使用され、含水比の高い粘性土あるいは均一な粒径の砂質土の締固めに効果的である。

〔問題 35〕 「建設業法」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づく
施工体制台帳及び施工体系図に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 公共工事を発注者から直接受注した建設業者は、下請契約の締結の有無にかかわらず
施工体制台帳を作成しなければならない。
- (2) 民間工事を発注者から直接受注した建設業者が、当該工事を施工するために下請契約を
締結したときは、下請契約の請負代金の総額が政令で定める金額以上の場合に施工体制
台帳を作成しなければならない。
- (3) 施工体制台帳を作成した建設業者は、完成図や発注者との打合せ記録簿とともに施工
体系図を工事目的物の引き渡しから10年間保存しなければならない。
- (4) 施工体制台帳には、台帳の作成義務のある建設業者及び2次・3次下請等を含め当該工事
の施工にあたる全ての下請負人の健康保険等の加入状況を記載しなければならない。

〔問題 36〕 工事の建設費と工期に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) ノーマル・コストとは、工事を構成する各作業の直接費がそれぞれ最小となるような方法
で工事を行った場合の全工事の総直接費のことである。
- (2) 最適工期とは、直接費と間接費を合わせた総建設費が最小となる最も経済的な工期のこと
である。
- (3) 工事の建設費は、直接費と間接費に分けられ、一般に、工期の短縮に伴い直接費は増加
し、間接費は減少する。
- (4) オール・クラッシュ・コストとは、各作業のクラッシュ・コストを集計したものであり、
直接費と間接費を合わせた総建設費が最高となるものである。